



地球にやさしい堆肥化装置

### 資源循環のために 更なる生ごみの堆肥化を



小山美香(生活者ネット)  
二枚橋焼却場の老朽化、資源としての活用等から、生ごみの堆肥化は急がれている。  
(ア)小中学校の給食用生ごみ堆肥化装置を利用して、夏休み中に家庭ごみの分別投入をしているが、多くの市民に参加してもらったための周知が必要。今年はどう進めていくのか。

(イ)夏休みだけでなく、冬・春休みや土日にも投入できないか。(ウ)事業系生ごみの堆肥化については、実施の方向で話し合いを持つ必要があると思うが、市の考えは。(エ)一般家庭から出る生ごみの堆肥化をどう広げていくのか。

環境部長 (ア)説明会等具体的には決定していないが、多

くの方が参加できるように、企画立案からの市民との協働については対応していきたい。  
(エ)生ごみの出し方、設置場所等問題が多く、まだ計画を立てられない。  
ごみ対策課長 (イ)日数や投入管理等の問題があり、無理(ウ)協力店、機械の設置等問題があり、進んでいない。  
「生ごみは燃やさず、資源として循環ができる。市民との協働で、市内での循環を急いで進めるべきである。」と要望した。

### 保育園の園庭緑化について



稲垣庸子(市民の党)  
12月議会に続き、保育園の園庭緑化について質問する。  
園庭を緑化すれば、子どもたちは草や虫たちにふれることができるなど精神的メリットは大きい。また、外遊びが増えたという報告もある。(ア)前回、園長会に提案するとのことだったが、結果はどうか。

(イ)園庭の緑化は文言で規定されてはいないものの、エンゼルプランと整合がとれていると思うが、どうか。(ウ)進めるにあたり内部だけの話し合いでなく、専門家をまじえたプロジェクトをたちあげたらどうか。(エ)教育、公共施設の緑化を進めることについて環境部はどのように考えているか。

福祉保健部次長 (ア)維持管理に多少の難点はあるがメリットが多く、検討の余地がある、とのことだった。(イ)広い意味で整合性がある。(ウ)園長会等で提案し、一定の期間をかけ検討したい。  
環境部長 (エ)非常に重要な施策一つと位置づけている。他に市民参加について質問した。その中で、市民参加は参画だけではないこと、NPO委託も含まれることを示し、現状は不十分であることを指摘した。

### 傾聴ボランティア制度を 設置すべきである。



斎藤康夫(民主党)  
傾聴ボランティア(シニア・ピア・カウンセラー)とは、元気な高齢者がカウンセリングの基本を学び、悩みをもつお年寄りの話し相手として相談にのることです。(ア)市では、身体的、精神的に少しゆとりのある高齢者が悩みをもつ高齢者に対し、カウンセリング

をする「傾聴ボランティア」の必要性をどのように受け止めているか。(イ)傾聴ボランティアになるためには訓練が必要である。市が一定の費用を負担してボランティア養成講座を開くべきである。  
福祉保健部長 (ア)高齢者同士のお話、悩み等をお聞きするという点では大変重要な

ボランテアと認識している。(イ)市で直ちに養成講座を開催するのは非常に難しいが、貴重なご提言であるので重く受け止め、研究課題とする。

市長 (ア)傾聴の制度を実施する場合、個々の家庭の訪問よりお集まり頂くほうがいいと思う。(イ)部長が申し上げているように検討課題としては、その他に「小金井市のごみの行き先について」と「事務事業の効率化について(その1)」として、水道課の給水受け付業務」を質問しました。

### リユース優先の循環型 社会を実現するために



藤村忍(生活者ネット)  
①(ア)市民と行政が協働してごみ問題を解決するための基盤として、ごみ処理に関する費用を情報公開し、市民の共通認識を図ることが必要と考えるがどうか。(イ)ごみの発生抑制を進めるために、リターナブルびん等再利用できる容器の使用を市民や事業者

きかけないか。また、環境への負荷のある製品をできるだけつくりださず、またつくる段階から再利用を考慮した製品づくりに進めるために、製造者に対する拡大生産者責任を国に働きかけないか。  
ごみ対策課長 (ア)市報特集号や市民向け説明等でわかりやすく説明していきたい。(イ)

東京都市長会及び全国市長会を通して要望していきたい。  
②市内の大学で子育て支援に関する研究や地域と協力した取り組みが行われている。市の施策を進めるうえで、大学との連携を図らないか。  
福祉保健部次長 子ども家庭支援センターの取り組みの中で連携を図っていきたい。  
この他、「市民ニーズにあつた子ども家庭支援センターをつくるために、市民との話し合いの場をもつこと等」について要望した。



市役所第二庁舎玄関

### リース庁舎延長についての 市長の責任を問う



青木ひかる(市民の党)  
①市長は一期4年で千351万円になる退職金を受け取るの  
か。  
市長 考えてきたが、まだ結論が出ていない。  
②生活保護世帯が2000年を境に急増している。ケースワーカーの量的・質的レベルアップが必要ではないか。

全庁的な人員配置見直しの中で具体的な検討をすべきである。  
福祉推進課長 生活福祉係は庶務担当を合わせて10名いるので、その中で内部生み出しするよう、人員配置等を検討していきたい。  
③リース庁舎の賃借期間が残り一年を切った中で、市長

は事実上、10年間更新するしかない状況まで追いつめられている。こういう事態をまねいたことについて、市民の前に説明し、責任を明らかにした上で、信を問うべきではないか。  
市長 別の選択肢はない。現時点で責任をとれということにはならない。  
その他に、「子どもたちにツケを回さない市政を、プライマリバランスについて」を質問しました。

### 武蔵小金井駅南口 再開発を新たに問う



高木真人(民主党)  
(ア)事業の成否性について問う。(イ)税収面も含め市民生活の利便性がどのように向上するのか問う。  
市長 (ア)大手スーパー、JR、公園、市の4者がきちんと責任を持てば成り立ち、駅前広場も9倍に広がる。平成15年度の国、都の補助金が内

定されており、国、都とも成り立性があると判断している。  
街づくり担当部長 (ア)大手スーパーは長期格付でAA+、JRは完全民営化。公園の賃貸住宅は軒並み10倍近い応募状況、採算性の高い事業であると考える。また、都市公園が施行者となり、責任を持つて事業を進めていく形になる。



拡張が待たれる南口駅前広場